河北新報　2022年4月23日

第3回 一般社団法人食のみやぎ応援団 新商品発表会で発表された
「むすび丸のおにぎり」が河北新報に掲載されました。

宮城の企業　むすび丸おにぎり発売

宮城県産ひとめぼれのデビュー30周年に合わせ「むすび丸」をデザインしたおにぎりが登場する。製造会社は「おむすびのキャラなのにおにぎりがないのが疑問だった」。

山形・飯豊　白川湖・水没林 カヌー体験

河北新報

ひとめぼれデビュー30周年

むすび丸おにぎり発売

宮城・利府の企業　具材も地元産活用

宮城県産米の主力品種ひとめぼれのデビュー30周年に合わせ、米穀販売・加工のポン・リー宮城（宮城県利府町）は、県の観光PRキャラクター「むすび丸」をプリントデザインしたおにぎりを企画した。同社の取引先などで順次販売する。

県産ひとめぼれと白菜漬ノリを使用。具材は地元産の水産加工業木の屋石巻水産が手がけた「金華サバのほぐし身」、東松島市の食肉製造・加工業オイタミートによる「牛タンのつくだ煮」の2種を用意した。

ポン・リー宮城はむすび丸をかたどったおにぎりを長らく構想してきたが、ノリの裁断技術やコストの課題から断念。大手のニコニコのり（大阪市）の協力を得て商品化にこぎ着けた。

「『おむすびのキャラクターなのに、なぜおにぎりそのものが売り出されないのか』との声が社内外から10年以上前からあった。ようやく念願がかなった」とは早坂厚総営業本部長（59）。

「味にもデザインにも自信がある。オール宮城の商品を多くの人に食べてほしい」とアピールする。

販売は23日、三陸自動車道三滝堂インターチェンジ（登米市）の道の駅を皮切りに開始。5月3日からは宮城、岩手、福島、山形4県のドラッグストア「ウエルシア」約80店舗などほか、6月ごろ東北の各大学生協でも売り出す。価格は一7〇円前後になる。連絡先はポン・リー宮城〇22（356）7666。

販売が始まる「むすび丸おにぎり」

どうほく経済

MEMS活用 開発支援

東北大、26日「ラボ」開設

東北大は27日、MEMS（微小電気機械システム）を使った中小企業や研究機関による高性能製品の開発を支援しようと、仙台市青葉区の西澤潤一記念研究センターに共用施設「プロトタイプラボ」を26日に開設する。

センター3階の約300

MEMSは半導体の微細加工技術により作られるセンサーなどを指す。スマートフォンやインクジェットプリンターの部品などに応用されている。

ラボを運営する東北大マイクロシステム融合研究開発センターは、2〇一〇年